令和６年１月１０日（水）避難訓練

教室に不審者が侵入したことを想定した避難訓練

本日の避難訓練は、教室に不審者が侵入したことを想定したものです。訓練にあたり、熊谷警察署から署員の方々に御来校いただきました。ありがとうございます。

２０年以上前、大阪の小学校に侵入した男が、校内の教室や廊下などで児童らを襲い、８名の児童の尊い命を奪うという大変な事件が発生しました。昨年３月には、埼玉県戸田市の中学校に刃物を持った男が侵入し、期末試験中の教室に入ろうとしました。いち早く気付いた教員が対応している間に、生徒たちは逃げ大事には至りませんでしたが、その教員は大けがを負ってしまいました。いずれの事件も私たちは教訓にする必要があります。

昨年３月以来、先生たちは２回、不審者対応の訓練を行いました。さすまた等を使い、生徒を避難させ、警察が到着するまでの時間をかせぐという訓練です。でも、それだけでは不十分なのです。生徒自身が身を守る手段を学び、意識を高める必要があるからです。

本日の避難訓練では、不審者役の警察官が侵入した３年生の該当クラスだけでなく、全ての学年・教室で動画配信をしていましたので、緊迫感も伝わったでしょうし、バリケードをつくること、不審者と距離をとることなど、身を守る手段も学んだことと思います。

ここでは、２つのことをお願いしたいと思います。１つは、先生の指示に従い、落ち着いて避難を行うことです。昨日の集会でお話した通り、今月２日に羽田空港で衝突事故が発生し、海上保安庁の職員５名がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。日本航空の航空機の乗員乗客３７９名は全員、炎上する機体から脱出することができました。脱出に要した時間は１８分間でした。海外では、このことを「奇跡的」と報道しています。「奇跡」の要因の１つは、乗客がパニックに陥らず、乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとったことだと言われています。乗客同士が力を合わせ、助け合う場面も見られたそうです。不審者が学校に侵入した場合、１人１人が自身の身を守ることを第一に考えるとともに、先生や大人の指示をよく聞き、落ち着いた避難行動をお願いします。

２つ目は、日頃の学校生活を送る上でのお願いです。校内にお客様がいらっしゃれば、皆さんはお客様の方を向いたり目を見たりして挨拶をしています。これを続けてください。そして、何かしらの「異変」を感じたなら、近くにいる大人に教えてください。全校生徒の「目」で、学校をいつも通りの安全な場所にしていきたいのです。宜しくお願いします。

以上２つのことをお願いし、避難訓練の校長講話とします。

熊谷市立三尻中学校長　　田沼良宣